



千支の絵・デザイン：瀧川秀敏

(広報)

おびひろ

Public Information OBIHIRO

平成30年
(2018年)
No.1124
January

1

発行：帯広市
編集：政策推進部広報広聴課
〒080-8670
帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24-4111
FAX(0155)23-0151
帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

11月末の人口と世帯数

人口▶167,711人
(前月比-49人)
男▶80,074人
女▶87,637人
世帯▶87,231世帯
(前月比-3世帯)

11月の火災発生件数

2件 (前月比±0件)

11月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,213t
(前年同月比+146t)
資源ごみ(Sの日)量 589t
(前年同月比+10t)

今月の紙面

新春対談 2018
..... 2~4



十勝・帯広を舞台に、仲間と夢の実現に向けて挑戦し続けるお二人と、取り組みへの情熱などについて語ります。

お正月は
ばんえい十勝へ 5

備えてますか
冬の災害 6

意見をお寄せください
..... 12

十勝・帯広の明るい未来へ 確かな歩みを進める

帯広市長 米沢 則寿



新年あけましておめでとう
ございます。本年が、市民の
皆さまにとって明るく希望に
満ちた年となりますようお祈
りいたします。

今、わが国は、少子高齢社
会の到来や経済のグローバル
化、自然災害の頻発、技術革
新の加速など、かつてない環
境変化の中にあり、私たちの
地域にもさまざまな影響が及
んでいます。

十勝・帯広では、時代の変
化や地域課題に対応し、さら
なる飛躍につなげていくため
食と農業、豊かな自然、開拓
精神あふれる人材といった強
みを、新たな価値を創り出す
原動力としながら、圏域が一
丸となって挑戦を続けてきて
いるところです。

本年は、かつて「蝦夷地」

と呼ばれていた北の大地が
「北海道」と命名されてから、
150年目を迎えます。

私は、この節目を機に、先
人たちが十勝・帯広で風雪に
耐え、挑戦を重ねながら培っ
てきた独自の歴史・文化や素
晴らしい財産を、次代の住み
よいふるさとづくりにさらに
活かしていくとの思いを新た
にしています。今を生きる私
たちは、地域の特性や資源を
最大限に活用して、誰もが幸
せを感じ、希望を持って暮ら
せるまちづくりを進め、自信
と誇りを持って将来へ引き継
いでいかなければなりません。

本年が、十勝・帯広の明る
い未来に向け、確かな歩みを
進める年となりますことを願
い、年頭のご挨拶といたしま
す。



市民の皆さまと共に 豊かな地域社会の実現へ

帯広市議会議員 小森 唯永



あけましておめでとうござ
います。市民の皆さまには輝
かしい新春をお迎えのことと
心からお喜び申し上げます。

地方公共団体は、人口減少
や少子高齢化の進行などによ
り、地域経済の低迷やコミュ
ニティーの衰退など、乗り越
えなければならぬ多くの課
題を抱えています。

こうした中、地方議会には、
団体意思を決定し、執行機関
を監視する役割はもとより、
多様化する住民ニーズをま
ちづくりに反映していく行動力
が、これまで以上に求められ
ています。

帯広市議会では、行動・提
案する、分かりやすい開かれ
た議会を目指し、議会基本条
例の制定をはじめ、議会活性
化に向けたさまざまな取り組
みを進めてまいりました。

昨年には、市民意見を反映
した政策提案機能の充実を
図るため、議員政策研究会を
立ち上げました。私たちの健
やかな暮らしを脅かす「がん」
について、地域が一体となっ
て対策に取り組むことができ
るよう、議論を重ねていると
ころです。

今後も、議員一同、議会に
求められる役割をしっかりと
捉え、市民の皆さまと共に、
安心して生活できる豊かな地
域社会の実現に尽力していま
りますので、ご理解、ご協力
を賜りますようお願い申し上
げます。

本年も、皆さまにとりまし
て希望に満ちた年となります
ことをお祈り申し上げ、新年
のご挨拶といたします。

十勝・帯広の資源×人×情熱 = まちの元気

新 | 春 | 対 | 談 |
2018



今年は、十勝・帯広の地域資源を活用し、仲間と夢の実現に向けて挑戦し続けるお二人と、取り組みへの情熱などについて語ります。
(ホテルヌプカにて)

問い合わせ 広報広聴課 (市庁舎3階、☎65・4109)

強まる十勝・帯広への想い



市長 今日は、お二人との対談を楽しみにしてきました。

お二人は、十勝の魅力を紹介した短編映画「マイ・リトル・ガイドブック」の制作や、帯広駅前の旧「ホテルみのや」を改修し、「ホテルヌプカ」(以下、ヌプカ)を開業するなど、十勝・帯広の地域資源を生かしたさまざまな取り組みをされています。お二人の活動のきっかけは何だったのでしょうか。

柏尾 私も坂口さんも十勝出身で、東京生活が長くなり、年を重ねるにつれ、地元・十勝の素晴らしさをより強く感じていくようになりました。その中で「地元のために何か具体的に取り組みたい」とい

う想いが生まれてきました。

坂口 私も、柏尾さんが中心となって立ち上げた、東京で働く十勝出身者や十勝に魅了された多種多様な仲間たちのプロジェクトチーム「ワイガヤ十勝」のメンバーとして活動する中で、「十勝のために」という想いが強くなりました。

市長 十勝の素晴らしさはどんなところにあると感じていますか。

柏尾 東京などの大都会では、暮らしの中でちよつとした閉塞感を感じることもあります。でも、十勝は「食」や「農業」を中心とした豊かな自然風土の中で、「これはおもしろい」という発想が自由で伸び伸びしています。また、十勝の仲間と話すときは、「皆やろうよ」「やるなら応援するよ」といった元気なメッセージを感じます。



十勝シティデザイン株式会社
創業者 柏尾 哲哉さん

帯広市出身。帯広駅前にある旧「ホテルみのや」をリノベーション(改修)し、平成28年「ホテルヌプカ」を開業するなど、十勝・帯広の魅力発信や地域活性化に取り組む「十勝シティデザイン」を創業。また、十勝の活性化のために東京在住の十勝出身者や、その仲間たちで立ち上げた「ワイガヤ十勝」では、平成27年、十勝と台湾を舞台にした短編映画「my little guidebook」[※](監督：逢坂芳郎氏)を制作。

人を惹きつける4要素は「自然」「気候」「食」「文化」



坂口 私は、十勝には食べ物がたくさんあることですね。高級食材は少ないかもしれないけれど、すごく新鮮でおいしいものが豊富にある。なんといっても、食べ物に囲まれている安心感があります。

市長 私はよく、外から訪れた人たちから「十勝・帯広は元気だね」といわれます。私もそう感じていますし、データでも十勝・帯広の元気が分かるものがあります。



例えば国勢調査における帯広市の人口の伸びは、札幌市、千歳市に次いで道内で3番目。市税収入の、平成22年度から平成28年度の増加額と伸び率は、道内主要10市で札幌市に次いで2番目となっています。民間による住みよさランキングでも道内で2番目なんです。

柏尾 まちが元気なのが、データでも裏付けされているんですね。

この土地の風土をこよなく愛し、ここで生きることを選択して、自分の生き方に責任と誇りを持った人たちがたくさんいる地域。それが、十勝・帯広だと感じています。

地元の食と人々の暮らしを大切に



市長 十勝・帯広の魅力発信の取り組みをご紹介いただけますか。

柏尾 私たちは、十勝を国際的な視点から俯瞰して、地元・十勝が世界、特にアジア諸国と直接結びつく未来をつくりたいと考えました。そこで、まずは映画を作って、十勝の魅力を映像とストーリーで発信するところから始めました。

そして、映画から生まれる十勝への注目と、人の流れの受け皿となる場所として、旅行者と地元の人交流できるホテルを作ろうと考えようになりました。

市長 モデルとしたホテルがあるそうですね。

柏尾 はい。米国オレゴン州のポートランド市にある「エースホテル」です。ポートランド市は、豊かな自然と食に恵まれたオレゴン州の中核都市で、環境に配慮したコンパクトな都市機能を持つパランスのよいまちです。オレゴン州とポートランド市の関係は、十勝と帯広市の関係にとっても似ています。ポートランド市は、地元の食材や人々の生活の質を大切にしている、米国で一番住みたいまちとして移住者が増え続けています。

そのポートランド市の魅力を象徴するのが、老朽化したホテルを改装したエースホテルです。こんなホテルを帯広に作りたと思うようになったとき、まちなかで営業を終

※ my little guidebook 十勝と台湾を舞台にした短編映画。「映像の力で十勝にしかない魅力を世界に発信したい」という思いから、主人公に台湾の女優を起用し、外国人から見た十勝の魅力などが紹介されている。夏編、冬編があり、動画共有サービス YouTube にて配信中。





十勝シティデザイン株式会社 代表取締役
ホテルヌプカ 総支配人

坂口 琴美さん

幕別町出身。東京のハンバーガーショップ「Rainbow Kitchen」代表。十勝の短編映画制作、クラフトビール、旧「ホテルみのや」改修プロジェクトに関わり、柏尾氏と「十勝シティデザイン」を設立。ホテルヌプカ総支配人に就任。十勝の大きな魅力である食と農をより理解し、「十勝」を世界に届けたいと話す。

了したホテルの存在を知り、ヌプカを開業する一大決心をしました。坂口 私は飲食業に携わる中で農家さんとのつながりが多く、十勝の美味しいものが食べられる場所、生産者の顔が浮かぶ場所を作りたいと思ったことが始まりでした。そして、旅人や地元の人たちが自由に集い、語り合える、最高に楽しい場所になりたいと思いました。柏尾 ヌプカのロビー階にはカフェやバーも併設し、店頭で設置されたショーケースには、ヌプカのキッチンで調理された料理が並んでいます。「地元の畑から採れたものを大切に調理する」ストーリーが見える場所を作りたい、その想いが込められているんです。坂口 やつぱり、作り手の顔や素材が見えると手に取りたくなるものですよ。どこから来たのか分からないものにはない、安心感や価値が生まれると思うんです。柏尾 市長が進める「フードバレーとかち」の理念を、私たちなりにヌプカで実践し、応援していきたいと思っています。市長 うれしいですね。市長で良かったなと思う瞬間です。

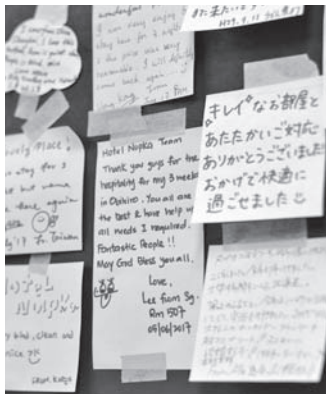
市長 ホテル開業から1年半がたちますが、これまでを振り返っての感想を聞かせてもらえますか。柏尾 地方でゼロから生まれた独立系ホテルなので、最初は口コミもなく、集客に苦労しました。オープンした3月は十勝観光のオフシーズンで、ある程度の覚悟はしていたものの、私たちの事業構想自体が全部間違っているのではないかと不安になったり。坂口 そこをどう耐えるか。私たちは、ヌプカにしかない価値を丁寧にお客様に提供すること、これだけをきちんと積み重ねていけば、必ずこの良さに気付いてくれる。そう信じて前に進み続けてきましたし、今もそう信じています。市長 不安な時期を我慢してよく乗り越えましたね。柏尾 ゴールデンウィーク辺りから少しずつ人の流れが見え始め、その際の口コミの反応がよかったことに勇気付けられました。そこからメディアの取材で取り上げていただいたり、稼働や売り上げの数字がついてきて、1年目の営業が終わったところでようやく何か生まれてきた感じがありました。2年目からは前年度の稼働を超える月が続ぎ、より手応えを感じられるようになりました。坂口 お客様も最初の頃は日本やアジア圏からが中心でしたが、今はヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカなどからもお越しいただいています。柏尾 1年目の外国人旅行者の宿泊者は約25カ国、450人程で、全体の7%程でした。市内のホテルの平均は1%強という統計ですので、ヌプカは、より国際色豊かなホテルといえると思います。坂口 若者を中心に、広い層の人たちはインターネットで調べ、たとえ地方でも魅力ある場所を求めて世界中を旅する流れになってき

旅の始まりにふさわしい 快適な空間づくり



十勝産大麦麦芽100%ビール

ていると思います。今後も十勝の価値に気付く海外からの観光客は、もっと増えると確信しています。それから、利用されたお客様から「部屋は広くはないけれど、すごく清潔で気持ちが良い」といったお褒めの言葉をいただいたときは、滞在にご満足いただけたのだなと、とても実感できる瞬間です。柏尾 ヌプカに滞在したお客様が書き記してくれたたくさんのおメッセージが、5階のラウンジに掲示されています。このホテルは、私たちスタッフだけでなく、お客様と一緒に作っていきたくないと願っているのです、その一つ一つが大きな励みとなっています。市長 情報通信技術が発達し、世界中と十勝・帯広が瞬時につながる時代になってきました。海外からの観光客が十勝の大自然を満喫しに来たときに、泊まる宿で重視する点は、豪華さよりも清潔感であったり、心が通じ合う温かさや快適さではないでしょうか。ヌプカは「旅の始まりの場所」として英気を養う、とても心地よい空間づくりをされていると感じます。



宿泊客からのメッセージの数々

市長 情報通信技術が発達し、世界中と十勝・帯広が瞬時につながる時代になってきました。海外からの観光客が十勝の大自然を満喫しに来たときに、泊まる宿で重視する点は、豪華さよりも清潔感であったり、心が通じ合う温かさや快適さではないでしょうか。ヌプカは「旅の始まりの場所」として英気を養う、とても心地よい空間づくりをされていると感じます。

「個」がつながることで 動き出す

柏尾 映画やホテルを自ら手掛けるまでは、何かを作るのは企業や組織にしかできないと思っていま

した。でも、同じ価値観を共有する個人がつながることで、組織の壁を越え、物事を動かすことができるのだと身をもって知りました。特に今の時代、インターネットを通じて、いつでも、どこにいてもつながることができるようになりました。日々いろいろなことを仲間と試行錯誤しながら続けていく中で、新たな出会いが生まれて、「次は一緒にやろう」といった仲間の輪もすくすく広がってきています。市長 お二人のチャレンジは、企業や組織ではなく、個人と個人が出会い活躍できる場、「つながり」の玄関とでもいうような場所をつくっています。それはとても重要なことであり、十勝の人たちがまだ気が付いていない、まさに先駆けのような気がします。ここヌプカから、十勝の雄大な空間にある大自然や食といった地域資源の魅力と「個」をつなぎ、そして、旅人や地元の人たちの新たな接点を生み出し、新しい広がりにつながっていると改めて感じさせられました。柏尾 今の旅行者は、自然や食、文化をはじめ、その地域の気質を感じ、地元の人たちとの交流を楽しみたいという傾向が強まっています。ヌプカを旅の拠点として、北の屋台やスイーツ店などさまざまな十勝の食体験を幅広いのまちなかで楽しめることは、アジアをはじめ世界の多くの人にとっても、すごく魅力があるものだと思います。もともと多くの人がこの地域の価値に気付いてくれると、遠くからでも十勝に来たいという世界的なブランド力を確立できるものと期待しています。市長 誰でも、エネルギーを持つ

ている人と話したり、エネルギーを感じる場所で過ごし、自らもエネルギーギッシュになりたいと思うはずであり、どんなに遠く離れていても、行ってみようと思うものではないでしょうか。

十勝は人生100年時代の先進地



柏尾 先日ヌプカで、リンダ・グラットンさんの著書「ライフ・シフト/100年時代の人生戦略」をテーマにしたトークイベントを開催しました。

医療の進歩などで、これからは人生100年時代になるといわれています。情報通信技術や国際化が一層進み、人口構造や社会環境など、あらゆることが変わって行く中で、私たちは、ライフシフト※し自分らしい生き方をデザインしていくことが問われています。

「組織からの自立を伴うライフシフトが起こるのは東京が一番最後で、地方から先に始まる。中でも、自然と食に恵まれる十勝が一番だ」との声が上がり、道外から来た講演者も含めイベント会場はすごく盛り上がりました。

坂口 すごい熱気でしたよね。



市長 先ほど柏尾さんが言ってくれた、ここ十勝には、人を惹きつける四つの要素があるということ。

それに加えて、開拓精神を受け継いださまざまな変化に対応する力や多様性を受け入れる寛容さ。そして、何より情熱やエネルギーにあふれる人たちがたくさんいること。私も、この地域が先進地になる素地や可能性は、十分に備わっていると思います。

柏尾 本場にそうですね。

市長 その上で、これからの人生100年時代を生き抜いていけるまちになるためには、中長期的な展望を持ったまちづくりを意識していくことが大切だと思います。

まちの魅力や豊かさを求めるとき、それぞれの世代が、どのような豊かさや生き方を望んでいるのかを考え、具現化していくことが重要になってきます。

働き・暮らす喜びが感じられる場所であり続ける

坂口 ホテル開業に当たり、スタッフを募集した際、ホテル業の経験者は1人しかいなくて、人材を確保するのが大変でした。今の時代は、普通の時間に淡々と働きたいという人が増え、サービス業は人気がない職業です。でも、私

がこの仕事を続けてきて本当に良かったと思うのは、苦労したこと以上のうれしいことをたくさん得られたことです。

仕事では、毎日いろいろなことが起こります。それは生きていく上でも同じこと。経験していく中で、自分の対処方法や引き出しを増やしたり、人との関係性が蓄積できることが自分にとって大きな財産になる。そういう意味において、接客業、サービス業には生きる力をつけられる魅力を感じます。

柏尾 よく「地域で雇用をつくる」

といわれますが、「雇用はあるが働き手が少ない」というのが実感です。逆に働き手を惹きつける企業になれば、ビジネスは大きく前進していけます。少子高齢化が進む中、求められる働き場所や働き方をつくり出すことに注力して取り組むことが大切です。この地域で働くこと、その喜びを伝えていくことは、まちづくりにおいても重要なのではないのでしょうか。

近年、一つの仕事だけをする「専業」の時代ではなくなりつつある中で、私たちはさらに、仕事を複数掛け持つ「兼業」が当たり前な職場となることを目指しています。人生100年時代は、一人ひとりが個性やスキル(能力)をどんどん成長させていくことができます。多様なスキルや価値観を持った仲間が協力しあい、誰もがやりがいや達成感を感じられる、そんな働き方が理想です。

市長 今、国では働き方改革を進めています。残業時間を減らすなどの物理的な話よりも、やりがいや目的をどう見出ししていくかが重要だと思っています。淡々とこなす仕事に感動は生まれにくいですが、悩み、苦労した末に、それを乗り越えたときの達成感がこの仕事にはあるんだ、ということが伝われば、人はおのずと集まってくると思うんですよ。

そして、こんなに人との接点があつて、こんなに喜びがあるんだ、というやりがいを感じて、生き生きと前向きに暮らす人たちが増えていけば、まち全体も元気になっていくのだと思います。

誰もが生き生きと働き、暮らす喜びが感じられる、そんな、すてきなまちにしていきたいですね。

柏尾 よく「地域で雇用をつくる」

誰もが元気に生きられるまち



市長 最後に、これからのお二人の抱負や十勝・帯広の皆さんへのメッセージをお願いします。

柏尾 東京での暮らしが長くなる中で、上質な価値や暮らし方の源流は、地域や地方にあるのだと気づきました。これからは、魅力ある十勝・帯広が、東京を経由せず、直接世界と向き合いつながっていく未来の姿を意識していただきたいと思っています。そのためには、空間的にも時間軸も、100年とか次の世代を見据えた大きなスケールで想像力を働かせる。そのときに大事になってくるのは、仲間や家族と「楽しく働き、楽しく暮らす」ことだと思っています。「ここで働きたい、活躍したい」という人の輪が広がることで、事業としても、まちとしても、世界を惹きつける発信力を持つようになると思います。そのような未来に向けての十勝・帯広の旅は始まったばかり。自分としても大切に取組みを継続し、地元のためにも役に立ちたいと願っています。

坂口 「楽しいな」って思いながら働いているだけで、すごく一日が充実したのになりますし、気持ち良く働いている人の周りには、気持ちのいい人が集まってきます。人生の楽しみは、日々の何気ない日常の中にたくさんあります。「私は何も見つかっていない」なんて思っている、少しずつ何かが起こっているということ、皆さんにも五感を使って感じてほしいです。自分に響くものを、響く人たちの輪を少しずつ広げていくだけで、すごく人生が違ったものにな

なっていくと思っています。
市長 今日は、前向きなお二人との対談を通じて、情熱を持つて事に向き合えば、必ず新しい何かが生まれるということを改めて教えてくださいました。

ここ十勝が「元気」といわれるのは、たぶん十勝の人たちが、お二人のように前向きだからだと思います。「十勝晴れ」に代表されるこの地域の気候もまた、それを後押ししてくれているのではないのでしょうか。明日に夢を持ち、人と会おうのが楽しい、何か新しいことにワクワクする、そんな人たちがたくさんいる元気なまち、十勝・帯広。今まさに、お二人のチャレンジがそれを具現化してくれていて、大変心強いと感じました。

これからも、お二人が十勝・帯広の元気づくり、ますます活躍されることを期待しています。今日は本当に楽しかったです。どうもありがとうございます。

柏尾・坂口 こちらこそ。有意義な時間をどうもありがとうございました。これからも頑張ります。

柏尾 よく「地域で雇用をつくる」

ホテルヌプカ



HOTEL NUPKA
西2南10、☎20・2600
www.nupka.jp

「ヌプカ」はアイヌ語で「原野」を意味し、ここを拠点に美しい十勝平野を巡ってほしいという想いを込めたもの。併設するカフェ/バーは宿泊客以外も利用可能で、地元食材を使った料理を提供している。

※ライフシフト これまでの「教育・仕事・そして引退」という生き方から、仕事や生活の変化への柔軟な対応力・行動力、人とのつながりなどを重視し、「人生100年時代の豊かで充実した生き方」に移行していくこと。



行財政運営の 取り組み

帯広市行財政運営ビジョン

行財政運営ビジョンの概要と平成28年度の取り組み状況をお知らせします。

問い合わせ 行政推進室（市庁舎5階、☎65・4112）

帯広市 行財政改革

「行財政運営ビジョン」 とは

市では、市民や企業の皆さんと連携・協力し、公共サービスを効率的、安定的に提供する取り組みを進めるため、平成25年～31年度の行財政運営の基本的な考え方や取り組み内容を示す指針「行財政運営ビジョン」（以下、ビジョン）を定めています。

ビジョンの取り組みを進めるための「実施計画」

ビジョンを着実に進めるため、31の実施項目について、毎年度、取り組みの工程や成果の見込みなどを「実施計画」として定め、年度終了後には計画に基づいて取り組みができたかどうかの検証を行っています。

図1 実施項目の取組状況 (31項目)

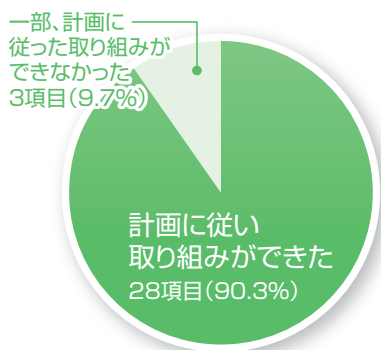
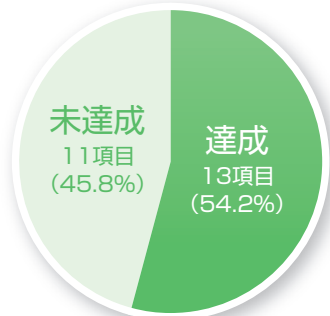


図2 数値化した成果の達成状況 (24項目)



また、取り組みの成果として数値化した指標を設定した24項目について、実績が計画を達成したかどうかの状況をみると、「市ホームページのアクセス総数」「自治体間連携の取り組み件数」など13項目が見込んだ数値を達成し、「広報おびひろ配布率」「目標収納率を上回った項目数」など11項目が未達成となりました。（図2）

また、有識者による「行財政改革推進市民委員会」をはじめ、市民の皆さんからいただいた意見を参考に、今後の取り組みの改善や充実につなげていきます。詳細は、市ホームページに掲載の「帯広市行財政運営ビジョン」平成28年度実施計画推進状況報告書をご覧ください。

平成28年度の 主な取り組み

○自主財源の確保を図るため、生活情報冊子「おびひろ暮らしと防災ガイド」を民間事業者と協働発行し、発行・配布に要する費用を全額冊子の広告料で賄いました。

○新総合体育館整備運営事業に、民間の資金と自由な発想を生かすPFI方式を初めて導入し、事業者を公募・決定しました。

○平成29年度から、ポロシリ自然公園に指定管理者制度を導入するため、条例改正や指定管理者の選定などを行いました。

○公共施設などの長寿命化や施設量の適正化などに取り組み基本方針や考え方をまとめた「帯広市公共施設マネジメント計画」を策定しました。

検証結果を次に生かす

実施計画の進捗具合を振り返り、計画通りに取り組みを進めることができなかった項目や、見込んだ成果につながらなかった項目については、その要因や課題などを分析して、今後の取り組みに生かしていきます。

お正月は ばんえい十勝へ

元日から5日まで連続開催

問い合わせ ばんえい振興室（西13南9、帯広競馬場内、☎34・0825）

最新情報はウェブから

お正月限定新春イベント

元日の帯広競馬場では、ばんえい騎手たちによるお出迎えのほか、平原太鼓の生演奏、縁起物お菓子の無料配布（開門時から先着800人）など、さまざまなサービスを用意しています。

また、元日から5日金までの期間中は、来場してくれた皆さんへ、お雑煮などの振る舞いもあります。（なくなり次第終了）

開門・発走(予定)時刻

1日(祝)～3日(水)	
開門	10時30分頃
第1レース*	11時30分頃
最終レース	17時15分頃
4日(木)、5日(金)	
開門	10時50分頃
第1レース	13時頃
最終レース	18時40分頃

※2日第1レースは11時10分頃
開門時刻は10時頃

最高峰の重賞競走 「帯広記念」と「天馬賞」

2日(火)は、ばんえい競馬を代表する人気馬が出走する伝統の高重量戦「帯広記念」、3日(水)は、4歳最強馬決定戦「天馬賞」と、スターホースが競い合うビッグレースが続きます。



よしもお笑い芸人 新春お笑い予想

競馬大好き、札幌よしもお笑い芸人「スキンヘッドカメラ」の二人が来場して、当日のレースを楽しく、真剣に予想します。

日時 1月2日(火)
11時15分頃～(予定)
場所 1階場内中央南側



備えてますか 冬の災害

冬は被害が最も大きくなる季節

厳しい寒さ、火災などのリスクが増す冬は、これまでの備えに加えて、寒さなども考えた防災対策が必要です。

問い合わせ 総務課（市庁舎5階、☎65・4103）

北海道において大地震の被害が最も大きくなるのが、冬期間といわれています。寒さによる健康被害に加えて、暖房器具を使う機会が増えることよって、火災の発生が多くなる恐れがあるためです。冬の災害を想定して、一人ひとり命を守る備えを確認しましょう。

寒さから命を守る

停電時に使えるストーブの備え

停電になると、普段家庭で使われている暖房器具の9割以上が使えなくなるといわれています。外気温が氷点下20度を下回る日もある中、数日間、電力が復旧しないことも想定した備えが必要です。

- CHECK!**
- コンセント電源がいらなくとも暖房器具
 - 燃料



例)対流型石油ストーブ

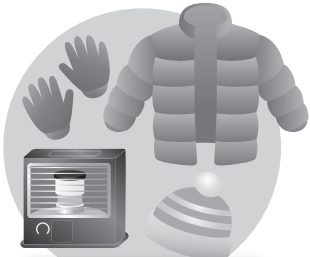
食料や水と防寒具の備え

冬の災害時には、寒さ対策が重要です。防寒具は災害用の特別なものもありますが、日常で使うものでも十分役立ちます。冬の備蓄品は、食料や飲料水などに加え、防寒具をまとめておきましょう。

- CHECK!**
- ジャンパー、トレーナーなどの上着
 - 防寒用の帽子、手袋、厚手の靴下
 - 毛布、使い捨てカイロ



非常用



冬の備え



常時備え

温かい食事ができる備え

体を温めるには、温かいものを食べるのが大切です。電気やガスなどのライフラインが断られた状況下では、カセットこんろなどが欠かせません。冬の間はボンベなど燃料を多めに用意しましょう。

- CHECK!**
- カセットこんろ
 - 燃料のボンベ(多め)



寒さをしのげる場所を想定する

電気やガスが断られたときに、寒さをしのぐ場所を考えておく必要があります。一時的に車に避難することも想定して、車内にも防寒具などを備えましょう。

また、車の燃料は早めに給油しておくことも防災対策の一つです。

ウエブ版はこちら

「おびひろ暮らしと防災ガイド」でも、冬の防災を掲載しています。



車内で救助を待つとき

車が雪に埋もれた状態でエンジンをかけ続けると、排気ガスが車内に充満して一酸化炭素中毒死する恐れがあります。

- ・原則、エンジンを停止する
- ・防寒具などで体温の低下を防ぐ
- ・防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは、排気口とその周辺を除雪する

車内に積んでおくべきもの

- CHECK!**
- スコップ
 - 防寒着、手袋、長靴
 - 毛布、使い捨てカイロ
 - けん引ロープ



火災から命を守る

大地震による被害は、家屋の倒壊や津波によるものばかりを考えがちですが、関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災で共通するのは「火災」による被害です。

冬は暖房器具や空気の乾燥、強風により、延焼拡大などの危険が高まります。また、地震による停電から復旧した際に、ストーブに接触した可燃物に引火したり、シヨ

防災イベントのお知らせ

冬季防災訓練

冬の災害を想定した救助訓練などのほか、学校の体育館に宿泊して避難所生活を体験します。会場には多目的トイレやスロープがあるので、足が不自由な人も参加しやすい訓練です。

日時 1月27日(土) 13時30分～28日(日) 8時
(日帰りは27日19時まで)

場所 帯広小学校(西8南5)

定員 各先着、日帰り50人、宿泊50人

申込 12月25日(月)～1月17日(水)までに、電話で総務課へ。



防災グッズ展

家庭での防災用品や市の備蓄資材を展示します。

日時 1月9日(火)～12日(金)、9時～17時
(最終日は15時まで)

場所 市民ホール(市庁舎1階)

弾道ミサイル落下時の行動

北朝鮮からミサイルが発射された場合、わずか10分以内に日本に到達する可能性もあります。ミサイル発射情報があったら、落ち着いて、速やかに避難行動をとってください。

市民の皆さんへのお知らせ

国が携帯電話に緊急速報メッセージを配信するほか、市内の消防署などからサイレンとアナウンスを放送してお知らせします。

屋外にいる場合

建物の中か地下に避難する。近くに建物がないときは物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

屋内にいる場合

窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

詳しくは 国民保護ポータルサイト 検索

地域で行う防災活動を支援



阪神・淡路大震災の火災(提供:神戸市)

市では皆さんの防災に関する理解を深めてもらうため、町内会などのグループ・団体からの希望に応じて職員が訪問し、防災講話や各種防災訓練を行っています。実施希望は気軽にご相談ください。



軽自動車税の 税額のお知らせ

平成30年度の軽自動車税

国の税制改正により、平成28年度から、軽自動車税の税額が変更されていますので確認してください。

問い合わせ 市民税課（市庁舎2階、☎65・4119）

軽自動車

初度検査年月に応じて、税額が決まります。（表1）

※初度検査：新車購入時に最初にナンバーを取得するための検査。初度検査年月は、自動車検査証の「初度検査年月」に記載されています。

①初度検査が平成27年3月31日以前の車両
初度検査から13年を経過するまでは旧税額のままです。
②初度検査が平成27年4月1日以後の車両
平成28年度から新税額が適用されています。

表1 軽自動車

車種区分		税額（年額）		
		①初度検査が平成27年3月31日以前の車両	②初度検査が平成27年4月1日以後の車両	③初度検査後13年経過した車両（経年重課）
四輪	乗用	自家用	7200円	1万2900円
		営業用	5500円	8200円
	貨物	自家用	4000円	6000円
		営業用	3000円	4500円
三輪		3100円	3900円	4600円

表2 原動機付自転車、二輪車など

車種区分	税額（年額）	
原動機付自転車	50cc以下	2000円
	50cc超90cc以下	2000円
	90cc超125cc以下	2400円
	ミニカー	3700円
二輪の軽自動車	125cc超250cc以下	3600円
二輪の小型自動車	250cc超	6000円
小型特殊自動車	農耕作業用（トラクターなど）	2000円
	その他（フォークリフトなど）	5900円
雪上車	660cc以下	3600円

表3 軽自動車税のグリーン化特例（軽課）

車種区分		初度検査が平成29年4月1日から平成30年3月31日までの車両 税額（年額）				
		特例なし	特例①	特例②	特例③	
四輪	乗用	自家用	1万800円	2700円	5400円	8100円
		営業用	6900円	1800円	3500円	5200円
	貨物	自家用	5000円	1300円	2500円	3800円
		営業用	3800円	1000円	1900円	2900円
三輪		3900円	1000円	2000円	3000円	

能の優れた車について、グリーン化特例が適用されます。（表3）
適用されるのは、平成29年4月1日～平成30年3月31日までに初度検査を受け、次の条件を満たしたものに限りです。
各燃費基準の達成状況は、自動車検査証の備考欄に記載されています。

◆特例①
電気自動車、天然ガス軽自動車：
平成30年排出ガス規制に適合するものまたは平成21年排出ガス規制に適合し、かつ、平成21年排出ガス10%軽減車

◆特例②
乗用：平成32年度燃費基準+30%達成車
貨物：平成27年度燃費基準+35%達成車

◆特例③
乗用：平成32年度燃費基準+10%達成車
貨物：平成27年度燃費基準+15%達成車

◆グリーン化特例
平成30年度に限り、三輪と四輪の軽自動車で、排出ガス、燃費性の低減達成車に限りです。

◆税負担を軽減
平成28年度から新税額が適用されています。（表2）

◆原動機付自転車、二輪車など
平成28年度から新税額が適用されています。（表2）

◆グリーン化特例
平成30年度に限り、三輪と四輪の軽自動車で、排出ガス、燃費性の低減達成車に限りです。

◆特例①
電気自動車、天然ガス軽自動車：
平成30年排出ガス規制に適合するものまたは平成21年排出ガス規制に適合し、かつ、平成21年排出ガス10%軽減車

◆特例②
乗用：平成32年度燃費基準+30%達成車
貨物：平成27年度燃費基準+35%達成車

◆特例③
乗用：平成32年度燃費基準+10%達成車
貨物：平成27年度燃費基準+15%達成車

◆グリーン化特例
平成30年度に限り、三輪と四輪の軽自動車で、排出ガス、燃費性の低減達成車に限りです。



改めて弔慰の意を表します

第十回特別弔慰金のご案内

国では、戦没者などの尊い犠牲に思いを致し、改めて弔慰の意を表すため、特別弔慰金を支給しています。

問い合わせ 社会課（市庁舎2階、☎65・4146）

特別弔慰金とは、戦後70周年に当たり、今日の平和と繁栄の礎となった戦没者などの尊い犠牲に思いを致し、改めて弔慰の意を表すため、国が遺族に対して記名国債[※]を支給しているものです。
※1 記名国債
国債権者の氏名を公債証券上に記名して発行する国債

対象者
平成27年4月1日（基準日）において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法（以下援護法）による遺族年金」などを受ける人（戦没者などの妻や父母など）がいない場合に、次の順番による先順位の遺族1人が請求できます。
1 平成27年4月1日までに「援護法」による弔慰金の受給権を得た人

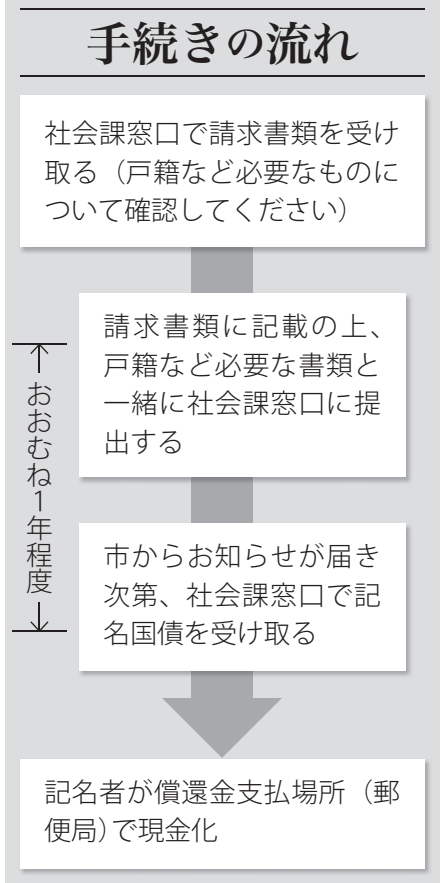
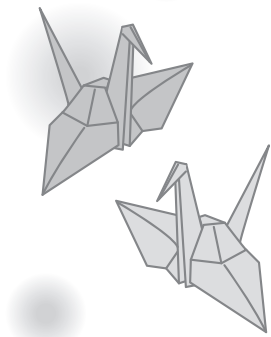
請求手続き
1から3以外の戦没者などの三親等内の親族（おい、めいなど）
戦没者などの死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた人に限ります。

支給内容
合計25万円分の記名国債を支給します。年1回5万円ずつ、5年かけて現金化できます。

請求期間
平成30年4月2日まで
請求期間を過ぎると特別弔慰金を受けることができなくなるので、注意してください。

請求手続きに必要なもの
▽請求書類など（窓口で交付します）
・戦没者などの遺族に対する特別弔慰金請求書
・第十回特別弔慰金国庫債券印鑑等届出書
・戦没者などの遺族の現況などについての申立書
・特別弔慰金請求同意書（同順位者がいる場合）
▽印鑑
▽平成27年4月1日（基準日）現在の請求者の戸籍抄本^{※2}
※2 請求者が過去に特別弔慰金の請求をしたことがあるか、遺族の現在の状況などで必要となる書類が異なります。詳細は窓口で確認してください。

手続きの流れ
社会課窓口で請求書類を受け取る（戸籍など必要なものについて確認してください）
↑おおむね1年程度↓
市からお知らせが届き次第、社会課窓口で記名国債を受け取る
記名者が償還金支払場所（郵便局）で現金化



Information 帯広市からの お知らせ

1月

申し込み方法など、特に記載のないものは、参加無料ですので当日会場へ直接お越しください。

詳しい内容は、担当課へ問い合わせください。(施設ごとに業務時間が異なります)

市役所代表

☎24・4111、F23・0151

市役所本庁舎業務時間

月～金曜日 8時45分～17時30分

帯広市ホームページ

<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

往復はがきなど 「申込時の記載事項」

- ① イベント・教室名
希望する日時・曜日・コースなど
- ② 住所 (郵便番号も)
- ③ 氏名 (ふりがな)
- ④ 電話番号
- ⑤ 生年月日 (スポーツの教室のみ)
- ⑥ 性別
- ⑦ 年齢 (高校生以下は学校名・学年、
年中、年長なども)
- ⑧ 保護者氏名 (小学生以下の場合)
- ⑨ 返送先 (往復はがきの場合)

特に記載のない申し込みは、申込期限必着で1人(組)1通。直接窓口で申し込む場合は、返信用のはがきをお持ちください。

イベント

平成30年帯広市消防出初式

消防車両や消防職団員による行進、放鳩式、木遣りやはしご乗りを行う。8時45分に消防団員を集めるサイレンを鳴らします。



火消しの伝統「はしご乗り」

児童会館のイベント

場・問児童会館 (緑ヶ丘2、☎24・2434)

◆冬休みわくわく教室

「ガリガリプロペラ」や「新聞紙でエコ凧づくり」などの工作教室

室や科学実験教室。
日1月7日(日)、10時～15時

◆親子囲碁入門教室

対小・中学生と保護者
日1月8日(祝)、10時～12時

◆もつくん教室

親子で簡単な工作をする。
①イヌの鈴メガホン、②折り紙ミニだこ

◆対幼児と保護者

日①1月10日(水)、②17日(水)、いずれも10時～11時30分

◆きらきらパペットシアター

幼児から小学校低学年向けの人形劇。

日1月21日(日)、14時～15時

◆親子おもしろ教室「牛乳パックでビッグヨーヨー」

牛乳パックでヨーヨーを作る。
対幼児、小・中学生と保護者

日1月27日(土)、9時30分～11時30分

第106回虹トン

演奏者グループ「クラシニコ・ムーサ」によるハーモニカ、バイオリン、フルートなどの演奏。

日1月7日(日)、15時～16時30分

場・問とかちプラザ (西4南13、☎22・7890)

図書館のイベント

場・問図書館 (西2南14、☎22・4700)

◆第40回おはなしのせかい

「十勝童話会」による、手作り紙芝居や語りなど、幼児、小学校低学年向けのおはなし会。

日1月7日(日)、10時30分～11時30分

◆冬休み子ども図書館のつどい

「あっちこっち紙芝居」による、幼児、児童向けの大型紙芝居ほか。
日1月14日(日)、11時～11時50分

森の交流館・十勝のイベント

場・問森の交流館・十勝 (西20南6、☎34・0122)

◆キッズ・プレイグラウンド(スリランカ)

歌や絵本などを通じて、外国文化に触れられる遊びの場。今回はスリランカ出身の帯広畜産大学留学生が、子どもたちと交流する。対未就学児と保護者。兄弟も参加

場・問とかちプラザ (西4南13、☎22・7890)

◆インターナショナル・トーク

(韓国) 留学生から見たJAPAN
韓国出身の帯広畜産大学留学生が自国紹介のほか、自身から見た日本、日韓関係や文化交流を紹介。対中学生以上

日1月20日(土)、18時30分～20時

◆ハワイアン・ルアウ

旅行では味わうことができないハワイアンフードを、ハワイ出身の国際交流員と作る。

対市内在住の高校生以上

日1月27日(土)、10時30分～13時30分

定着12人

費600円

申1月4日(木)～17日(水)までに、親善交流課(市庁舎3階、☎65・4133)へ。



ハワイの屋台料理「ガーリックシュリンプ」

百年記念館のイベント

場・問百年記念館 (緑ヶ丘2、☎24・5352)

◆ロビー展「十勝・帯広 むかしの絵はがき展」

観光絵はがきや、記念事業の際に発行された絵はがきを展示。(昭和ナツカシ館協力)

日1月13日(土)～2月4日(日)、9時～17時30分

◆第36回郷土美術展

十勝管内で絵画、工芸などの創造活動をしている人の作品を一堂に集めた展覧会。

日1月19日(金)～2月4日(日)、9時30分～17時 (最終日は15時30分まで)

◆第355回ロビーコンサート

「アナホルン3rdライブ」
十勝管内のホルン愛好者によるホルンアンサンブル。

日1月21日(日)、18時～19時30分

◆第356回ロビーコンサート

「クロモニカとピアノの調べ」
クラシックと映画音楽のソロとデュオの演奏。

日1月27日(土)、18時～19時15分

第29回 親と子のわくわく音楽会

親子で楽しめるオーケストラの演奏会。開演前に楽器体験も行う。

日1月21日(日)、14時30分～15時30分、楽器体験は13時～14時

場・問市民文化ホール (西5南11、☎23・8111)

帯広の森・はぐくむのイベント

小学生以下は保護者同伴。
場・申・問12月26日(火)各開催日

の前日までに、帯広の森・はぐくむ(南町南9線49、☎66・6200)へ。

◆森の寺子屋く雪の巻

かまくら作り・そり滑りなどの雪遊びや餅つきに挑戦する。対小学生

日1月14日(日)、10時〜14時

定先着15人

費300円

◆スノーシューで冬の森散策

雪のある冬にしか行けない場所を歩き、動物の足跡や木の冬芽などを観察する。

日1月21日(日)、10時〜12時

定先着15人

◆歩くスキー体験

初心者から上級者までを対象とした、歩くスキー・クロスカントリースキーの講習会。

日1月28日(日)、9時30分〜12時

定先着30人

在宅医療推進フォーラムinとかち 最期の生をどう過ごしますか

最期を迎えるとき、誰とどのように過ごしたいか、講演会とシンポジウムを通じて考える。

日1月20日(出)、13時〜16時

場市民文化ホール(西5南11)

定先着240人

申・問1月12日(金)までに、健康推進課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721)へ。

「学校給食週間」市民試食会

市民を対象に、開拓姉妹都市の静岡県松崎町の特産物を使用した献立を味わう試食会を行う。

日1月24日(水)、12時〜13時

定先着32人

費285円

場・申・問1月5日(金)〜15日(月)までに、電話で学校給食センター(南町南8線42-3、☎49・1900)へ。

高齢者ドライビング体験会

冬の悪路を再現した自動車学校のコースを運転し、冬道の運転技能のアドバイスを受けるほか、冬道のDVD鑑賞や視力検査を実施。

対市内在住の運転免許をお持ちの65歳以上

日1月27日(土)、9時〜12時

場おびひろ自動車学校(緑ヶ丘9)

定先着30人

申・問1月4日(木)〜16日(火)に、電話で安心安全推進課(市庁舎3階、☎65・4131)へ。

第26回十勝子ども雪合戦

対十勝管内の小・中学生

日2月4日(日)、9時20分〜14時

場グリーンパーク(緑ヶ丘2)

定各先着、小学校低学年27チーム、小学校高学年45チーム、中学生18チーム(1チーム7人)

申・問1月24日(水)までに、申込書を直接または郵送、ファクスで青少年課(市庁舎3階、☎65・4162、F23・0155)へ。申込書は同課で配布のほか、市ホームページからも印刷可能。

講座・教室

チーズづくり体験研修 (約1キログラム)

地場産の生乳を使った加工体験。日①1月20日(土)、②2月3日(土)、いずれも10時〜16時

定各先着10人

費各3000円

図書館の講座・教室

定各先着20人

場・申・問各申込期限までに、電話または直接図書館(西2南14、☎22・4700)へ。

◆なぜ?どうして?どうぶつ謎ナゾ講座

帯広畜産大学の先生から動物の話や動物の習性、飼育のポイントを聞いて、図書館の資料を使って調べ学習をする。

対小学生。小学3年生以下は保護者同伴

日1月12日(金)、13時30分〜15時30分

申込期限1月10日(水)

◆図書館ツアコン養成講習会

施設見学で平日に図書館を訪れる児童生徒への、館内案内をするボランティアを養成。

対十勝管内在住の人

日1月26日(金)、9時40分〜11時

申込期間1月5日(金)〜20日(土)

動物園の講座・教室

申・問各申込期間に、①③は電話で動物園へ、②は郵便はがきにて「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、動物園(〒080・0846緑ヶ丘2番地、☎24・2437)へ。

①おびZOOトークカフェ

飲み物を片手に飼育員の話や動物園の話題をテーマに「おびZOOの獣医日記Part.3」です。

日1月21日(日)、14時〜15時

場動物園

定先着30人

申込期間12月25日(月)〜1月20日(土)

②冬の裏側探検隊

動物舎の裏側を見るガイドツアー。今回は、ソウ、カンガルー、新サル舎を回る。小学生以下は保護者同伴。郵便はがき1枚で1組申し込み可能。グループの場合は「申込時の記載事項」のほかに参加者全員の氏名、年齢を追記。

日1月27日(土)、14時〜15時30分

場動物園

定抽選45人

申込期間12月28日(木)〜1月11日(木)

③フォトブックをつくってメッセージを伝えようーエゾリス編ー

森林性のエゾリスと都市型のエゾリスの違いや、野生のエゾリスに餌付けすることで生じる問題を学び、フォトブックを作る連続講座。作成したフォトブックは持ち帰り可。

対全3回に参加可能な人

日▽講義1月28日(日)、13時30分〜15時

▽ワークショップ2月3日(土)、13時〜16時

▽作品講評2月17日(土)、13時30分〜14時30分

場図書館(西2南14)

定先着20人

申込期間12月25日(月)〜1月27日(土)

社会参画支援講座

橋爪恒雄・理恵氏(アグリファッショングループ)を講師に、起業に至るまでの苦労や喜びについて学ぶ。未就学児の託児希望者は1月18日(木)までに申し込み。

対十勝管内在住の人

日1月26日(金)、14時〜15時30分

場大正農業者トレーニングセンター(大正本町西1)

定先着30人

申・問1月4日(木)〜25日(木)までに、男女共同参画推進課(市庁舎3階、☎65・4134)へ。

博物館講座「大昔のとかち」

これまでの発掘調査から明らかになった、十勝・帯広の先史時代の様子を解説。

日1月27日(土)、14時〜16時

場・問百年記念館(緑ヶ丘2、☎24・5352)

赤十字資格講習・研修会

場グリーンプラザ(公園東町3) 定各先着30人

申・問各申込期間に、直接社会課(市庁舎2階、☎65・4146)へ。

◆赤十字水上安全法救助員I資格継続研修会

申込時に赤十字水上安全法救助員I認定証を持参。対赤十字水上安全法救助員Iの資格を取得してから2年以上経過し、資格有効期限を迎えていない人

日1月28日(日)、9時〜13時

費1000円

申込期間1月4日(木)〜26日(金)

◆赤十字救急法基礎講習会

心肺蘇生法やAEDの使用法など、応急手当てを学ぶ。対15歳以上

日2月17日(土)、9時〜13時

費1500円

申込期間1月17日(水)〜2月16日(金)

◆赤十字救急法救急員養成講習会

救急員の資格取得を目指す。申込時に救急法基礎講習認定証を持参。対15歳以上の救急法基礎講習認定証を持っている人

日▽2月17日(土)、14時〜17時

▽18日(日)、9時〜17時

▽25日(日)、9時〜17時

場(市庁舎2階、☎26・9132)へ。

初めてのパンとケーキ作り 教室

3回の講習でおいしいパンとケーキ作りを学ぶ。

日1月19日(金)、2月16日(金)、3月16日(金)、全3回、10時〜12時30分

定先着10人

費6480円

場・申・問1月12日(金)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森都市農村交流センターサラダ館(〒080・2472西22条南6丁目6、☎36・8095)へ。



パンとケーキ作りの基本を学ぶ

普通救命講習

出血時の止血法や心臓停止、呼吸停止時の救命手当て、AEDの使い方など心肺蘇生法を習得する。

日・場①2月9日(金)、消防庁舎(西6南6)、②2月19日(日)、南出張所(西17南41)、いずれも13時30分〜16時30分

定①先着50人、②先着30人

費各500円

申・問①は1月3日(水)〜2月2日(金)まで、②は1月13日(土)〜2月12日(木)までに、帯広消防署救急課(西6南6、☎26・9132)へ。

市民大学講座

対15歳以上

場とかちプラザ(西4南13)

◆第47集「戦後の帯広市と川西村大正村との合併までの歩みと歴史を振り返る」

嶺野侑氏(元帯広市議会議員)を講師に、戦後の帯広市と川西村大正村との合併をめぐる数々のドラマを振り返りながら、農業王国十勝の中心都市が誕生するまでの歩みと歴史を学ぶ。未就学児(2歳以上)の託児希望者は1月16日(火)までに申し込み。

日1月23日(火)、18時30分〜20時

定先着150人

◆第48集「ヨーグルトの世界へようこそ!〜歴史ある食文化の魅力のぞいてみよう〜」

有江泰彦氏(明治北日本支社札幌オフィス業務部コミュニケーション課参与)を講師に、プロバイオティクス研究の進展によって素晴らしい機能が明らかになってきたヨーグルトの歴史、種類、栄養、乳酸菌の働きなどを学ぶ。簡単な実験と試食体験付き。未就学児(2歳以上)の託児希望者は1月23日(火)までに申し込み。

日1月30日(火)、18時30分〜20時

定先着50人

健康・福祉

子育て支援課からのお知らせ

場・問子育て支援課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・97)

2)

◆乳幼児健診のお知らせ

対象日は個別通知を確認。受け付けは12時20分〜13時15分

・5カ月児健診とBCG接種

健診に来られなくても希望者には、絵本をプレゼント。詳細は問い合わせください。

対平成29年7月生まれ

日1月17日(水)、24日(水)、31日(水)

・1歳6カ月児健診

対平成28年6月生まれ

日1月10日(水)、18日(木)、23日(火)

・3歳児健診

対平成26年12月生まれ

日1月11日(木)、16日(火)、25日(木)

◆ママと赤ちゃん向け講座「ママと赤ちゃんのわくわく母乳講座」

妊娠中の人と、赤ちゃんを育児中の母親を対象に、専門職による講話のほか、悩み相談にも応じる。

対妊娠中の人、1歳までの赤ちゃんと保護者。上のお子さんも参加可能ですが託児はありません

日1月26日(金)、10時〜11時10分

定先着10人

◆ほんわかファミリー教室

妊娠中の栄養のお話、赤ちゃんをお風呂に入れる練習、パパの妊婦体験など、出産・育児を学ぶ。

対6月に初出産予定の夫婦

日2月18日(日)、13時〜15時30分

申1月15日(月)〜2月14日(水)までに、電話で子育て支援課へ。

1、F25・9703)へ。

◆YOGA講座

心と体を統合していくヨーガの呼吸法を学ぶ。

対市内在住の障害のある人

日1月24日(水)、10時〜12時

◆視覚障害者学級

対市内在住の視覚に障害のある人

その家族、ボランティアの人

日2月4日(日)、10時〜12時

◆認知症・家族の集い「茶話会」

認知症の人を介護している家族の交流会。介護を終えた人や、認知症の人と一緒に参加も可能。手伝いが必要な場合は連絡ください。

日1月25日(木)、13時30分〜15時

◆認知症サポーター養成講座

認知症の症状や認知症の人との接し方などを学び、認知症の人を地域で見守る応援者を養成する。

日1月29日(月)、13時30分〜15時

◆からだスツキリ講座

ミニ講話と簡単な体操やストレッチを行う。

場・問各申込期間に、障害者生活支援センター(東8南13、保健福祉センター内、☎25・970)

対市内在住の18歳以上

◆フィンガリズムおやこ〜年少児〜

親子でいろいろな動きをして、基礎体力などの能力向上を目指す。対市内在住の年少児に当たる幼児と保護者

日1月17日〜2月14日の水曜日、全5回、15時30分〜16時30分

◆エキノコックス症検診

採血による血清反応検査。結果は約4週間後に通知。

◆みんなで楽しく！リトミック

音楽に合わせて体を動かすことで、運動能力と心の発達を促す。

◆スノーシュー教室

スノーシューを使って、雪の帯広の森をウォーキングする。

◆帯広の森スポーツ推進中パークゴルフ大会

男女別36ホールストロークプレイの大会。

◆帯広の森スポーツセンターからののお知らせ

場・問各申込期間に、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森スポーツセンター(〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎48・891)

2)へ。

◆フィンガリズムおやこ〜年少児〜

親子でいろいろな動きをして、基礎体力などの能力向上を目指す。対市内在住の年少児に当たる幼児と保護者

日1月17日〜2月14日の水曜日、全5回、15時30分〜16時30分

◆エキノコックス症検診

採血による血清反応検査。結果は約4週間後に通知。

◆みんなで楽しく！リトミック

音楽に合わせて体を動かすことで、運動能力と心の発達を促す。

◆スノーシュー教室

スノーシューを使って、雪の帯広の森をウォーキングする。

◆帯広の森スポーツ推進中パークゴルフ大会

男女別36ホールストロークプレイの大会。

◆帯広の森スポーツセンターからののお知らせ

場・問各申込期間に、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森スポーツセンター(〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎48・891)

費各1000円

◆冬のノルディックウォーキング教室

2本のポール(ストック)を使って冬の屋外を歩く、エクササイズ効果の高いウォーキングの教室。

日1月17日(水)、24日(水)、全2回、10時〜11時30分

◆スノーシュー教室

スノーシューを使って、雪の帯広の森をウォーキングする。

◆帯広の森スポーツ推進中パークゴルフ大会

男女別36ホールストロークプレイの大会。

◆帯広の森スポーツセンターからののお知らせ

場・問各申込期間に、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森スポーツセンター(〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎48・8338)へ。

1月の燃やさないごみ・有害ごみの収集日

燃やすごみが月・木曜日収集地区は、1月17日(水)、31日(水)です。燃やすごみが火・金曜日収集地区は、1月10日(水)、24日(水)です。

問清掃事業課(西24北4、☎37・2311)

スポーツ



帯広の森体育館からののお知らせ

場・問各申込期間に、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森体育館(〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎48・891)

市民クロスカントリー スキーツアー

大樹町生花苗沼周辺で、5キロメートルと10キロメートルのコースを滑る。スキーマの貸し出しあり。入浴希望者は別途入浴料が必要。市庁舎南側駐車場集合、解散。

対市内在住の小学生以上

日1月21日(日)、8時〜16時

定先着60人

申・問1月10日(水)までに、スポーツ振興室(市庁舎8階、☎65・4210)へ。

帯広の森スポーツセンターからののお知らせ

場・問各申込期間に、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森スポーツセンター(〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎48・8338)へ。

2018十勝大平原クロスカントリースキー大会の中止のお知らせ

昨年の台風10号で被災したコースの復旧が未完了のため、3月に予定していた大会は中止します。問スポーツ振興室(市庁舎8階、☎65・4210)

募集

平成30年の奨学生を募集 (奨学金の貸与)

申請できるのは市に住民登録している人の子どもで、①②③の要件をすべて満たす人。①平成30年4月に大学、専門学校、高校などに在学している予定の人、②経済的理由で修学が難しい人(収入所得の上限額あり)、③学業が優秀で健康な人

貸付金額・定員 大学は月額2万、3万、5万円のいずれかで定員20人▽専門学校は月額3万円で定員5人▽高校は月額7000円で定員10人(定員はいずれも予定)

申・問 1月4日(木)～2月9日(金)までに、申請書を直接、学校教育課(市庁舎8階、☎65・4203)へ。申請書は同課で配布のほか、ホームページからも印刷可能。

1月定期募集分 市営住宅入居者を募集

申し込みは郵送や電話ではできません。印鑑、マイナンバー確認書類、本人確認書類を持参の上、直接お越しください。申し込み方法や入居者資格、募集住宅は問い合わせください。

市営住宅の収入基準を超える人向けの、特定公共賃貸住宅は随時受け付けています。

日 1月4日(木)、8時45分～17時30分、5日(金)、8時45分～19時

申・問 住宅課(市庁舎3階、☎65・4190)

帯広市職員を募集(任期付保育士)

平成30年4月1日採用予定の総合職(任期付保育士)を募集。申し込みの前に、必ず試験案内で資格要件と申し込み方法を確認してください。試験案内は、総合案内(市庁舎1階)と職員課(市庁舎5階)で配布のほか、市ホームページにも掲載。

募集人数、試験会場は試験案内を確認してください。

申・問 1月5日(金)～15日(月)までに、試験案内の採用試験申込書を、直接または郵送で職員課(〒080・8670 西5条南7丁目1番地、市庁舎5階、☎65・4108)へ。

コミセン・福祉センター 嘱託職員を募集

平成30年4月1日から市内のコミュニティ施設に勤務する嘱託職員を募集。詳細は必ず募集案内で確認してください。

募集職種・人数▽事務員計4人(西帯広コミセン1人、森の里コミセン2人、大正トレセン1人)▽住み込み管理人各1人、計7人(東・西帯広コミセン、中央・緑ヶ丘・稲田南・みなみ野・南町福祉センター)▽通いの管理人(半日勤務)4人程度 ほか

申・問 1月4日(木)～2月1日(木)までに、履歴書(自筆)を直接、市民活動推進課(市庁舎3階、☎65・4130)へ。募集案内は同課で配布のほか、市ホームページ

小規模特認校(清川・愛国小) への入学児童を募集

住所変更をすることなく、豊かな自然環境の中で特色ある教育活動を行っている農村地域の小規模特認校へ就学することができます。見学の希望は、直接、各学校に

からも印刷可能。

問い合わせください。清川小学校

(清川町西3、☎60・2035)、愛国小学校(愛国町基線23、☎64・4751)

対市街地の小学校へ通学を指定されている平成30年度の新小学1～6年生

就学期間原則卒業までの1年以上定各学校・各学年3人程度

申・問 1月4日(木)～31日(水)までに、学校教育課(市庁舎8階、☎65・4203)へ。

帯広市消費者生活審議会 委員を募集

市の消費者施策について調査・審議を行う委員を募集。

対市内在住または通勤、通学している20歳以上で、年数回の会議に出席できる人。ただし、市が設置する審議会などの委員は除く。

定選考2人

任期2年間

報酬出席1回につき8500円

申 1月4日(木)～24日(水)までに、応募の動機が消費生活に関する意見を書いた800字以内のレポートと履歴書を、直接または郵送で安心安全推進課(〒080・8670 西5条南7丁目1番地、市庁舎3階、☎65・4132)へ。

第37回おびひろ市民芸術祭 参加者を募集

5月3日～29日に開催する市民芸術祭への参加者を募集。

申・問 1月10日(水)～31日(水)までに、市民文化ホール、各コミセンなどで配布の申込用紙を直接または郵送、ファクス、Eメールで、市民文化ホール(〒080・0015 西5条南11丁目48番地、☎23・8111、F 23・8112、✉info-bunkahall@obhio-foundation.jp)へ。

サウンドストリーム

ロックなどのバンド演奏。

対市内で活動しているアマチュアバンド

私の作品展

絵画、写真、書道、陶芸、押し花、俳句など展示できるもの。

対市内で活動している個人

私の作品展(映像)

1 作品5分程度の映像(スライドショー可)でジャンル不問。

対市内で活動している個人、団体

イラスト・ギャラリー

アニメ、イラストの展示。

対市内で活動している個人、団体

ビジネス

シニア従業員のお仕事説明会 inおびひろ

高齢者などの地域見守り協定を締結している市とセブン・イレブンの社会参加およびシニア従業員の雇用促進を目指すセブン・イレブンの仕事内容の説明会を行う。

対おおむね60歳以上で市内のセブン・イレブン各店舗で働きたい人

日 1月25日(木)、10時～11時30分

場 南コミセン(西10南34)

定 先着25人

申・問 1月9日(火)～24日(水)までに、ハローワーク帯広(西5南5、☎23・8296)へ。

案内

20歳になったら国民年金の 手続きを

国民年金は、国内に住所がある20歳以上60歳未満のすべての人が

加入する制度です。

収入が少なく国民年金保険料の納付が困難な人には「免除・納付猶予制度」、学生の人には「学生納付特例制度」があります。詳しくは相談してください。

20歳前に就職して厚生年金に加入している人は、国民年金の加入手続きは不要です。

問 戸籍住民課(市庁舎1階、☎65・4143)、帯広年金事務所

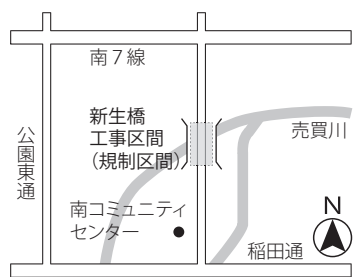
(西1南1、☎25・8113、音声案内2↓2)

ご意見募集・パブリックコメント(市民意見提出制度)

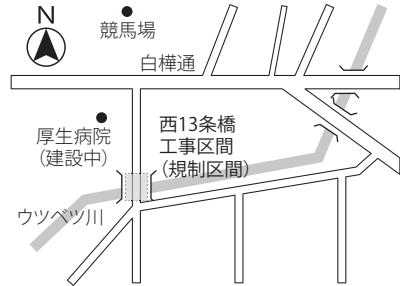
パブリックコメントは、市民の皆さんの意見を市政に反映させる制度です。住みよいまちにするために、意見をお聴かせください。詳細は12頁に掲載しています。

橋の補修工事による交通規制のお知らせ(予定)

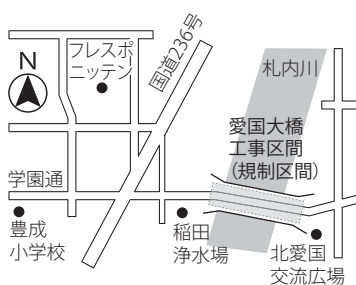
橋の長寿命化のための補修工事により、交通規制を予定しています。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。 問 土木課(市庁舎6階、☎65・4183)



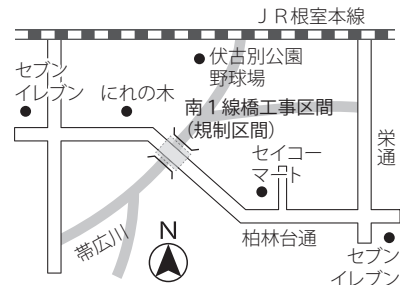
新生橋(西10南32)
期間 1月9日(火)～2月9日(金)
規制片側交互通行(二週間程度通行止め)



西13条橋(西13南9)
期間 1月9日(火)～3月16日(金)
規制片側交互通行



愛国大橋(愛国町)
期間 1月9日(火)～3月9日(金)
規制片側交互通行(昼夜間)



南1線橋(西22南2)
期間 1月9日(火)～3月16日(金)
規制片側交互通行

休日・夜間の急病は

▷帯広市急病テレホンセンター(☎0155・26・1099) 8699、携帯電話/PHS☎011・221・8699)

▷北海道救急医療情報案内センター(☎0120・20・



マイナポータルが始まりました

問い合わせ マイナナンバー制度全般は行政推進室（市庁舎5階、☎65・4112）、マイナナンバーカードは戸籍住民課（市庁舎1階、☎0570・08・5578）

マイナポータルは、政府が運営するオンラインサービスです。

マイナナンバーカードを使って、自宅のパソコンなどから子育てに関する手続きができるほか、行政機関同士が個人情報を受け渡した履歴の確認などができます。

マイナナンバーカードをつくりましょう



プラスチック製で顔写真入りのカードです。申請書を郵送するか、パソコン、スマートフォンから申請できます。初回の交付は無料です。申請書は、通知カードと一緒に、平成27年10月以降に郵送しましたが、当時から住所が変わった人、見当たらない人は、戸籍住民課で再交付を受けてください。

マイナポータルに必要なもの

マイナナンバーカード

マイナポータルにログインする際の本人認証に使用します。

ICカードリーダライタ

カードを読み取る機器で、家電量販店などで販売しています。

マイナポータルで自分の情報の閲覧などに使います。



マイナナンバーカード



ICカードリーダライタ

オンライン申請の例

◆児童手当の認定申請

電子申請機能で、書面での申請が不要

◆認可保育所(園)への入所申請

入所申請、面談予約が自宅などからできる

マイナポータル専用パソコンを設置しました

◇市庁舎

- 1階：戸籍住民課、介護保険課
- 2階：市民税課
- 3階：こども課
- 5階：情報室(行政推進室内)

◇保健福祉センター(東8南13)

- 1階：子育て支援課
- 2階：健康推進課

◇川西支所、大正支所

窓口の営業時間内に利用できます。操作方法が分からない場合は職員にお尋ねください。



📷 オビヒロカメラレポ

米沢市長が地域で市民の声を伺う、地区懇談会が開催されました。

今年度は「防災」と「子育て」の2つのテーマについて、市の取り組みや考え方を説明し、全6回合わせて約210人の市民の皆さんと懇談。「休日に、父親向けの子育て講座も実施してほしい」など、具体的な声もいただきました。(10月28日～11月24日、市内6カ所)



市長と語ろう「夢かなうまちおびひろ」地区懇談会

市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援する「Mottoおび広がるプロジェクト」の公開プレゼンテーションが行われ、11組が参加しました。アートやマジック、スポーツ、アイドル活動など、実演や映像を交えながらまちを元気にするアイデアを発表。協働のまちづくりに向け、活発に質問や意見が交わされました。(11月25日、市庁舎)



Mottoおび広がるプロジェクト 公開プレゼン

意見を お寄せください パブリックコメント (市民意見提出制度)

問い合わせ 各担当課

内容は各コミセンや市ホームページで公開

各計画の策定に当たり、市民の皆さんから意見を募集します。計画(原案)および募集要領は、各コミセンや担当課、市ホームページで公開します。

意見は郵送・直接・ファクス・Eメールで

意見募集期間内に、案件名、氏名、住所、意見の箇所と内容を書いて、担当課へ提出してください。詳細は募集要領をご覧ください。

募集期間 いずれも1月16日(火)～2月14日(水)

◆第五期帯広市障害福祉計画(原案)

障害のある人の自立した日常生活と社会生活の実現を目指し、必要な障害福祉サービスや障害児支援、相談支援、地域生活支援などが計画的に提供されるよう方策を策定します。計画(原案)および募集要領の点字版・音声版については問い合わせください。

提出先・担当課 障害福祉課(市庁舎1階、☎65・4147、F23・0163)

◆第二期けんこう帯広21改定版(原案)

市民が健康寿命を延ばし、健やかで心豊かに生活できるまちづくりを目指し、健康増進計画の見直しを行います。

提出先・担当課 健康推進課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721)

◆第七期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(原案)

高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で暮らし続けるために、健康づくりや生きがいづくり、介護保険サービスの計画を策定します。

提出先・担当課 高齢者福祉課(市庁舎2階、☎65・4145)

市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ 毎週月・水・金曜日 おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15～9:20 おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30～9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。問 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、F23・0156、✉report@city.obihiro.hokkaido.jp)